

令和8年度 二戸北星支援学校教職員 働き方改革アクションプラン

～笑顔が広がる やさしい職場に～

二戸北星支援学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の者
・R7年度:0人 R6年度:0人(※二戸分教室、奥中山校)

【定性的現状】

- 教職員の意識
 - ・働き方改革への意識は概ね高い
 - ・帰宅手段の都合(電車の時刻)により、定時退庁の意識が高い
 - ・会議の効率化やICT活用による業務改善への意識が高い。
- 管理職のマネジメント
 - ・円滑なコミュニケーションが図れる職場環境を目指している。
 - ・組織全体で効率的な業務遂行を促進する環境を目指している。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員一人当たりの平均時間外在校等時間を30時間以下とすることを目指します。
- 年次休暇の平均取得日数を15日以上にします。

【目指す姿】

- ・ こどもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・ 教職員一人一人が、地域とともに子どもを育てる喜びを感じながら業務に取り組んでいる。
- ・ 教職員の心と時間のゆとりを確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	・管理職は、振替や検診について積極的に声をかけ、職員の健康を大切にする職場づくりを推進します。 ・互いに声をかけ合い、支え合う職場風土の醸成に努めます。
(2)	学校における業務改善の推進	・業務の見直しを継続的に行い、改善と効率化を図ります。 ・Teams等の活用により、業務の効率化を図ります。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	・働き方改革の取組について、保護者や地域の方にご理解いただけるよう、PTA総会等で説明します。
令和8年度 重点取組事項		・ICTの活用による業務の効率化に取り組みます。 ・風通しのよい職場環境づくりに努めます。

4 アクションプランの周知方法

- ・ プランを学校のHPに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・ PTA総会 学校評議委員会等を通じて、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。